

公民館だより なかがわ

第492号

令和5年11月1日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

【一般講座】

「フラワーアレンジメント教室」

(お正月飾り)

日時：12月22日(金)
10:00~12:00頃
場所：中川地区公民館 集会室
講師：つかさ花店さん
持ち物：花切はさみ、飲み物
材料費：2,500円
(つり銭のないようにお願いします)
対象：中川地区民
定員：先着15名程度
締切日：11月20日(月)

※昨年の作品



参加者募集

中川地区食生活改善推進協議会 「地区健康教室」

日時：12月4日(月) 10:00~11:00頃
場所：中川地区公民館 集会室
テーマ：「健康診断の結果の見方と気を付けたいポイント」
参加料：無料
対象：中川地区民
持ち物：健康診断の結果、筆記用具、飲み物
※詳細は、地区回覧チラシをご覧ください

「しめ飾り作り」

日時：12月16日(土) 10:00~12:00頃
場所：中川地区公民館 集会室
持ち物：飲み物、内履き、ハサミ、定規、鉛筆、持ち帰り用袋
参加料：無料
対象：中川地区民
締切日：12月1日(金)
◎わんぱく広場と同時に開催いたします
※詳細は、小学校配布チラシ、地区回覧チラシをご覧ください



公民館大掃除を行います！



お手伝いしていただける
ボランティアを募集します

日時：12月5日(火) 10:00~12:00
持ち物：古タオル、ゴム手袋等
その他：暖かい服装、また汚れても良い服装で
お越しください。

お申込み・お問合せ：中川地区公民館 (☎679-2501)

11月・12月 行事予定



11/1(水) 市報・館報
11/2(木) 三者会・会長会
一般講座「フラワーアレンジメント」
11/3(金) ~11/4(土) 福祉村文化産業まつり
11/6(月) 自衛消防訓練
11/10(金) 一般講座「第2回スマホ教室」
11/14(火) 粋いぎ倶楽部(職員不在時間あり)
11/22(水) 防犯協会中川支部研修会
11/24(金) パソコンクラブ
11/28(火) 先進地公民館視察研修会

12/1(金) 市報・館報
三者会・会長会
12/4(月) 食改健康教室
12/5(火) 大掃除
12/8(金) そば打ち教室
12/15(金) パソコンクラブ
中川地区表彰委員会
12/16(土) しめ飾り作り
12/22(金) 一般講座「フラワーアレンジメント」
12/26(火) わんぱく広場「そば打ち体験」
12/29(金) ~1/3(水) 公民館休館

詩吟教室 (火曜日) 11/7、14、21
ラージピンポン愛好会
(木曜日) 11/2、9、16、30

スポーツ麻雀愛好会
(木曜日) 11/16
(土曜日) 11/11、25



中川福祉村大運動会 開催！

10月8日(日)「第48回中川福祉村大運動会」が、市長はじめ多くの来賓の方々にご来場いただき、300人以上の地区民が参加し開催されました。前日まで雲行きが怪しく心配しましたが、久しぶりの晴天に恵まれ汗ばむほどの運動会日和となりました。6年ぶりとなるため、みんなが参加しやすく、また密着しにくい競技を取り入れることで感染症対策も行いました。

初めに「花笠音頭」で盛り上がり、「目指せホールインワン」では子供と大人の部に分かれ、ホールポストにどれだけ近づけるかを競い合いました。子供の部ではホールインワンも出て会場が沸きました！「村長とじゃんけん大会」では、齋藤村長と最後の一人になるまでみんなで楽しむことができました。また、「中川OXクイズ」では、中川地区民なら誰でもわかる？クイズで中川愛を試され、また「綱引きチャレンジ」では、本気の勝負が行われ、観客も大いに盛り上がりました。

この福祉村大運動会は、福祉施設の入所者も参加して地区民との交流、そして中川地区民同士の協力と親睦を図ることを目的としています。今年は、初めての試みもあった中で改善点も見えたので、また来年も皆様のご協力を得て、大いに盛り上がる運動会を実施していきたいと思ひます。

早朝から準備していただいた役員の皆さん、参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました。



ウォーキング「石のまち高畠・瓜割石庭公園」

9月26日(火)第6回ウォーキング教室は『石のまち高畠・瓜割石庭公園』に会員16名の参加で行われました。秋らしい季節の中、所々にある石碑を見ながら主要なポイントで、まほろばの里案内人の方に説明をしていただき歩いて来ました。大日如来石仏は別名足の神と崇められており、話しを聞いた会員の皆さんは『もっと丈夫な足腰になります様に・・・』と願いを込めて祈って来ました。高畠石で建築された旧高畠駅を訪れた後、石切り場だった瓜割石庭公園へ。高くそびえ立つ石の壁に圧倒されました。『ここで歌ったら響くね』『ヤッホの声も響くね』の声に、案内人の方のはからいで『ヤッホ』を行った時、響き渡る空間に癒され、会員の皆さんの笑顔がとても印象的でした。



【一般講座】「秋の寄せ植え教室」



9月29日(金)蘭花園の佐藤 淳志さんを講師にお迎えし、「秋の寄せ植え教室」を開催しました。ソラナムパンプキン、メキシカンセージ、ヤブラン、エリカ、ヒューケラ、カルーナ、ウエストリングア、アキランサス、グレコマバリエータなど12種類のお花を準備していただきました。ポカポカ陽気の秋晴れの中、育て方なども詳しく教えてもらい、おしゃべりをしながら楽しい時間となりました♪



市道上生居堀切線・市道永野開拓線 整備促進期成同盟会総会開催

9月25日(月)、市道上生居堀切線・市道永野開拓線整備促進期成同盟会総会が23名の参加で開催されました。初めに、現地に行き各地区の視察をした後、公民館にて令和4年度報告、5年度事業・収支予算計画(案)、役員選出等が行われました。



中川地区地域推進会議



10月13日(金)各関係者よりご参加いただき、中川地区地域推進会議が開催されました。各種団体の事業報告、各地区の要望等が述べられた後、上市市役所建設課課長・土木係長より、各地区に対して回答をいただき、すぐに回答できない件に関する「詳しい話を聞き、現地を見て対応していきたい」との言葉をいただきました。空き家問題、鳥獣被害、インフラ整備など、これからは全体で問題等を共有しながら各地区でできる事はもちろんですが、市や議員の方々、県への協力もお願いして早めに対策を講じることが必要となります。

【一般講座】「第1回 初心者スマホ教室」



10月17日(火)ソフトバンクさんより講師2名に来ていただき「第1回初心者スマホ教室」が開催されました。デモ機を使用する講習で、まだスマホを持っていない方の参加も可能な初心者向けの講座でしたが、とてもわかりやすい説明で、参加者はメモを取りながら熱心に聞いて実践していました。とはいえ、「難しい〜!」との声もあり、1日の講習で覚えられるものではありません。たくさんスマホに触れてとどんどん使ってみましょう!!



グラウンド・ゴルフ愛好会大会

10月16日(月)グラウンド・ゴルフ愛好会大会が開催されました。中川地区グラウンド・ゴルフ愛好会会員、永野地区のメンバー合わせて29名の参加者で8班に分かれ、8ホール2ゲームでスタート!!日頃の練習の成果を大いに発揮し、入賞目指し頑張っていました。ホールインワンもたくさん出て驚きました。来年の大会も白熱した戦いが見れるのを楽しみにしたいと思います♪皆さん頑張ってください!!

優勝 佐藤 敬一さん(金谷)
準優勝 会田 元さん(永野)
第3位 小関 充紀さん(金谷)



粹いき倶楽部

10月24日(火)第6回粹いき倶楽部は、秋の一日研修「赤湯温泉と結城豊太郎記念館」で、お隣の南陽市へと行ってきました。初めに「結城豊太郎記念館」を訪問し、職員の方のお話を聞きながら皆さんじっくりと見学しました。結城豊太郎氏は南陽市出身の元大蔵大臣で、第15代日本銀行総裁等を歴任し、国の要職にあって多忙な中でも郷土発展のために尽力されました。記念館には手紙などの遺品も展示されていて、氏の人柄なども垣間見ることができました。その後、丹泉ホテルさんへ移動して、皆さん楽しくお話をしながら美味しい昼食を堪能し、温泉で日頃の疲れを癒して、有意義な時間を過ごすことができました。



「昭和考、問わず語り（その33）」

甲石地区 高橋 正之

日本の対中国政策は、張作霖爆殺後、張学良による排日・抗日施策に遭い方針の転換に迫られる。

その具体的な対応を巡り協調外交を続ける政府と軍の対立が生まれた。そのきっかけとなったのは、南満州鉄道と併行して走る五鉄問題であった。

五鉄問題の方針を巡り政府と軍部が対立

張作霖事件の対応を巡り天皇の不信を買い辞任した田中義一内閣に代わり、昭和四年七月二日浜口雄幸内閣が成立し、昭和五年（一九三〇年）十一月、幣原喜重郎外相が、陸軍を含めた関係機関に「満州における鉄道問題に関する件」と題する方針案を示した。

この方針案は、「中国側の「満鉄競争線」（満鉄併行線）については、満鉄に「致命的の影響」を与えるものは基本的に容認しない。だが、それ以外の既設線については、連絡協定を締結して、これまでの「抗議を撤回」する。「満鉄競争線」以外の路線については、むしろ中国側による建設に「援助を与える」こととする。また「満州五鉄道」についても、洮索線、延海線、吉五線の三鉄道は、「支那側の自弁敷設に委せる」、残りの二鉄道についても基本的には当面権利留保に止める。」との融和的な方向をしめす提案であった。

これに対し、陸軍省側から一部修正のうえで同意する旨の回答がなされた。

しかしこの幣原外相案は陸軍にとって重大な内容を含んでいた。この三鉄道の建設は、対ソ戦準備を主眼とする陸軍側の強い意向によるものだったが、幣原案は、その三線をすべて中国側の自弁に任せ、他の二線も権利留保などに止めようとするものであった。

陸軍による満蒙問題の情勢判断

昭和六年三月、満蒙問題の根本的解決の必要を主張する参謀本部情報部が「昭和六年度情勢判断」を作成し、同年四月陸軍省・参謀本部での正式承認を受けた。

この「情勢判断」は、原本・写しとも現在所在不明であるが、他の資料から、ここでは、満蒙問題の

根本的解決の必要性が主張され、その方策として、第一段階の親日独立政権（中国主権下）樹立案、第二段階の独立国家建設案、第三段階の満蒙領有案が記されていたことが推定されている。

この情勢判断は、建川美次参謀本部情報部長（写真①）のもと、渡久雄欧米課長、重藤千秋支那課長、橋本欣五郎ロシア班長、根本博支那班長ら情報部中心メンバーによって策定された。欧州課員の武藤章も作成に加わっていた。

この作成メンバーのうち、渡、根本、武藤の三人は一夕会会員であり、その意向が何らかの形で反映されていたものと考えられる。

五課長会議の方針案

昭和六年六月、陸軍内で「昭和六年度情勢判断」への具体的対策案を検討するため、いわゆる五課長会議が発足し、一年後を目途に満蒙での武力行使を可能とする準備を行うことを定めた「満蒙問題解決方針の大綱」を決定した。

この五課長会議は、建川参謀本部情報部長を委員長に、陸軍省の永田鉄山軍事課長、岡村寧次補任課長、参謀本部の山脇正隆編制動員課長、渡久雄欧米課長、重藤千秋支那課長からなっていた。だが、八月から山脇に代わり東条英機編制動員課長が入り、今村均参謀本部作戦課長、磯谷兼介教育総監部第二課長も加わり、七課長会議となった。七課長のうち、永田、岡村、渡、東条、磯谷の五人が一夕会メンバーであった。

(写真①)



この五課長会議について、岡村の日記に次のようにある。

「六月十一日（木）参謀本部情勢判断対策に関し、実行案を練るため、本省（陸軍省）にて、永田と予（岡村）、参本（参謀本部）にて渡、山脇、重藤、三木、計五人、内密の委員を非公式に命ぜられ、本日第一回会合を偕行社に開き、第一着手の方針を協議す」

その後会議は続けられ、六月十九日（金）には、国策研究対満蒙方針の原案を策定するに至った。

この対満蒙方針原案は、その後検討を加えられ、「満州問題解決方針の大綱」となった。

- 一 満州における張学良政権の排日方針の緩和に、外務省とも協力してつとめる。
- 一 にもかかわらず排日行動が発展すれば、ついに「軍事行動の已むなきに到る」ことがある。
- 一 満州問題の解決には、内外の理解をえることが絶対必要である。
- 一 軍事行動に必要な兵力は、関東軍と作戦部が協議して計画する。
- 一 内外の理解をえるための施策は、「約一年すなわち来年春まで」を期間とし、その実施に周到を期す。
- 一 関東軍首脳部に、「来る一年間は隠忍自重」のうえ、排日紛争に巻き込まれないように努めさせる。

というもので、陸軍省・参謀本部首脳承認を得て、関東軍にも伝達された。実質的に一年後を目途に、満蒙での武力行使を可能とする準備を行うことが決められた。（以上、「昭和陸軍全史」川田稔著、講談社現代新書より。）
（次回は、柳条湖爆破事件（満州事変）直前の動きについて記述する予定です。）